



学年分散型で運動会を行いました

5月23日(火), 令和5年度稲生小学校運動会を開催いたしました。天気が薄曇りだったため, 心配していた暑さもなく, 子どもたちも元気いっぱいに競技や演技を行うことができました。

開会式では, 子どもたちに以下の2つのお話をしました。

「徒競走の競争は, 仲間と競い合うことで自分の力を引き出すためのものです。ですから, 順位ではなく, 自分が全力で取り組んだことに価値があります。」

「団体競技や演技は, 仲間と協力し支え合って心を一つにし, 一緒に何かを成し遂げる喜びを体感することに価値があります。一人だったら諦めてしまうこともみんなとなら乗り越えられる, これまでの練習の中でそんな気持ちになれた人もたくさんいると思います。失敗を恐れず, 仲間を信じて, のびのびと競技や演技をしてください。」

2学年ずつの分散型ではありましたが, 異学年の子どもたちと互いに応援し合い, それを受けて一生懸命に頑張る子どもたちの姿に, 運動会の良さを改めて感じました。温かい応援をしてくださった保護者の皆様, ご協力いただいたPTAの皆様, 本当にありがとうございました。



3年生徒競走



3年生「台風の日～走って回ってGoGo～」



4年生徒競走



4年生「心を一つに～よさこい・よっちょれ～」



1年生徒競走



1年生「ころころころりん大玉ころりん」



2年生徒競走



2年生「昆虫太極拳」



5年生徒競走



5年生「HELP!HELP!綱引き」



6年生徒競走



6年生「繋～一歩ずつ進む力～」



鈴鹿のお茶を味わおう～5年生～

5月16・17日、鈴鹿のお茶を味わう食育授業を5学年で行いました。鈴鹿市では西部地域を中心にお茶がたくさんとれることや、お茶の旬の時期は初夏の5月頃であることを知り、五感をつかって地元のお茶の美味しさを感じることを目的にした授業です。栄養教諭から、お茶の刈り取りから乾燥させて茶葉となるまでの工程や、急須を使ったお茶の入れ方を教わった後、実際に急須と湯のみを使って鈴鹿産の茶葉でお茶を入れて味わう体験活動を行いました。鈴鹿市役所農林水産課から急須等の茶器をお借りし、体験活動の支援もしていただきました。



お湯の温度によって、甘味や渋味の出方が変わることや、一煎目と二煎目の味の違いも感じ取ってくれたようです。また、市内のお茶農家の方のインタビュー映像から、生産に携わる人々の思いを学ぶこともできました。

おうちでも家族にお茶をふるまって、団らんの手段としてのお茶の良さも味わってもらえれば嬉しいです。

食事のマナーについて知ろう～1年生～

5月29日(月),1学年各クラスで,食事のマナーについて学習を行いました。

「食べ方のマナーは,どんなことがあるでしょう。」「お箸の持ち方はどんなですか。」「お箸の正しい使い方はどれでしょう。」「ごはんと汁物は,どちらが右で,どちらが左でしょう。」栄養教諭と担任が,子どもたちと楽しく考える授業を展開していました。



途中,実際にお箸を正しく持って物をつかむ練習をする活動もあり,子どもたちは苦戦しながらも頑張っていました。

1学期の各学年での食育指導は,以下のとおり計画しています。

- 1 学年「食物アレルギー」「食事のマナー」:生活科
- 2 学年「旬の食べ物」「夏野菜」:生活科
- 3 学年「鈴鹿市で生産される食べ物」:社会科
- 4 学年「給食から出るごみ」:社会科
- 5 学年「鈴鹿のお茶」:家庭科
- 6 学年「生活習慣病」:保健体育科

食育を通して,子どもたちが,食べ物や健康への関心を高め,自然や命への畏敬の念をもち,感謝して食事ができるようになってほしいと思います。

2年生が野菜を育てています

5月29日(月),2学年の子どもたちが,地域のボランティアさんに教えてもらって,野菜の苗を植えました。野菜は,ピーマン,ナスビ,プチトマトから,子どもたちが選びました。植木鉢は,1年生の時にアサガオを育てたものです。新しい培養土を入れて,「立派に育ってよ」と心をこめて,丁寧に植えました。



その後,子どもたちは,収穫できる日が来るのを楽しみに,毎日水をあげたり,肥料を置いたり,支柱を立てたり…。生育の様子に一喜一憂しながら,一生懸命に育ててきました。(土曜,日曜に,ボランティアさんが,そっとお水をあげてくださったり,脇芽を摘んでくださったり…。温かいご支援に感謝しております。)

そして,6月末頃から,収穫が始まっています。先日は,「校長先生にもあげる。」とプチトマトを分けてくれた子がいました。冷蔵庫で冷やして食べると,とっても味が濃くて美味しかったです。



子どもたちの楽しい収穫作業は,まだまだ続きそうです。

6年生がプール掃除をしてくれました

新型コロナウイルス感染症の影響で、この3年間でできなかった水泳の授業を、本年度から再開できることになりました。



それに向け、5月30日(火)午後から、6年生と職員とでプール掃除を行いました。この冬にプール底面の修理をしてもらったところだったので、例年よりは泥も溜まっていませんでしたが、プール内にはオタマジャクシがたくさんいてびっくりしました。きっと、春にカエルが産卵しに来たのでしょう。6年生の人たちが丁寧に掃除を進めるに連れて、大プール・小プールともに、きれいな底面が蘇ってきました。



6年生の人たちは、プール内だけでなく、プール周りの草抜きやトイレ掃除も一生懸命にしてくれました。その姿は、とても格好良かったです。学校みんなのために、後輩たちのために、と頑張ることができるのは、とても素敵です。最上級生の6年生の人たちのおかげで、楽しい水泳の授業が実施できます。6年生の皆さん、ありがとう!



ネットモラルについて考えました

5月31日(水)、鈴鹿市教育委員会教育支援課から先生をお招きして、6年生がネットモラルについての授業をしていただきました。

6年生にアンケートをしたところ、ほとんどの子が、スマートフォンやゲーム機等で、ほぼ毎日インターネットを使っているそうです。インターネットは、私たちの生活を便利にしてくれますが、使い方を間違えると、危険な目にあったり、相手の心を深く傷つけたりすることもあります。

「普段の生活ではしてはいけないことは、インターネットの中でもしてはいけない」というお話が教育支援課の先生からもありました。インターネットでつながった先には、様々な立場の人がたくさんいることを自覚して、一人ひとりが正しい知識をもち、相手の立場になって考え、正しい善悪の判断ができることが大切です。

ご家庭でも、子どもたちのインターネットの使い方を把握し、よりよい付き合い方について、しばしば話し合っただけであれば有難いです。



職員救急法講習会を実施しました



水泳の授業開始前の5月30日(火),31日(水)の放課後に、職員で、救急法講習会(心肺マッサージ、AED使用訓練を含む)を行いました。

応急手当、特に心肺蘇生については、一人だけで完結することはできません。ですから、事故が起きた時には、安全を確保した上で、まず人を集めることが大切になります。

集まった協力者に、119番通報やAEDを持ってくること、さらに人を集めることを頼み、疾病者が正常な呼吸をしていない場合は、直ちに人工呼吸と胸骨圧迫(心肺マッサージ)を開始します。

この一連の動作を確実に行えるように、二日間、繰り返し練習をしました。万が一に備え、職員みんなで真剣に取り組みました。



PTA家庭教育学級 開級式とそば打ち体験



5月31日(水)10:00から稲生小学校家庭科で、令和5年度PTA家庭教育学級の開級式とそば打ち体験教室が行われました。

社会の変化に伴って、家庭生活の在り方も私たち大人が子どもだった頃とは大きく変化しています。保護者もどんどん忙しく

なり、衣食住といった家事にかけられる時間も減少しました。そんな中で、家庭での子育てはどのように行えばよいのか、日々試行錯誤をしながら、保護者の皆さんは毎日奮闘されていることと存じます。そんな今だからこそ、子育ての仲間として、同じ悩みを共有する同志として、保護者の皆様がつながりをもつことがとても大切だと思います。PTA活動、とりわけ家庭教育学級は、つながり合い、支え合い、学び合う大切な場として、その価値がさらに高まっているのではないのでしょうか。



当日は、平日の午前中にもかかわらず、たくさんの保護者の皆様



が参加してくださいました。そして、そば打ち体験活動で、楽しい時間を一緒に過ごしてみえました。PTA家庭教育学級が、今後益々活発になり、保護者の皆様のつながりの輪がどんどん広がってほしいです。役員の皆様、ご指導くださった「いのうそば道楽」の皆様、本当にありがとうございました。

子ども食堂「稲乃屋」さんを訪問させていただきました

5月21日(日),子ども食堂「稲乃屋(いのや)」さんを訪問させていただきました。稲乃屋さんは、夢ある稲生まちづくり協議会福祉部会の皆さんが中心となり、たくさんのボランティアさんの協力で毎月第3日曜日に開かれる食堂で、子どもたちと一緒に参加される幅広い世代の方々が、地域の活動を知り、つながることができる素敵なコミュニケーションの場となっています。



会場となっている本照寺さんに11時過ぎに行きますと、すでにたくさんの人たちが食事を楽しんでみえました。大勢のボランティアさんも賑やかに活動してみえます。私(校長)もお願いして食べさせていただきました。

数々のお料理がどれもとても美味しくて感動しました。前日の土曜日から、ボランティアの皆さんが集まって仕込みをしてくださったのだそうです。一品一品が手作りで丁寧に作られていて、温かい心が伝わってきました。

子どもたちや保護者の皆さん、地域の方々が、一緒に食事を楽しみ、談笑する姿は本当に素敵でした。また、工作コーナーも設けられ、食後の子どもたちが楽しそうに活動していました。このような素敵な場がある稲生地区が、私も誇らしくなりました。地域の皆さんの御尽力とお志の高さに尊敬の思いでいっぱいです。

6月18日(日)は、さらにたくさん子どもたちや地域の方々が集まり、活気にあふれていました。味ご飯やポテトサラダ、コロケ、煮物…どれも美味しかったです。



次回は、7月16日(日)11時~12時半,場所は野町団地集会所「いこいの家」です。次回も、さらに参加者が増えて、コミュニケーションの輪が広がってほしいです。